

## 令和7年度 第1回

# 山梨県考古博物館協議会資料

////////////////////////////////////

( 次 第 )

1 開 会

2 委員紹介

3 館長あいさつ

4 議 事

(1) 令和6年度考古博物館事業実績について

(2) 令和7年度考古博物館事業経過・予定について

(3) 考古博物館利用状況について

(4) その他

1 デジタルアーカイブの導入について

2 重要文化財の指定について

5 閉 会

////////////////////////////////////

令和7年11月18日(火)

山梨県立考古博物館

# 資 料 目 次

## (1) 令和6年度 考古博物館事業実績について

1	展示活動	1 ～ 2
2	学習会・講座など	2 ～ 4
3	イベント	4 ～ 5
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	5 ～ 6
5	古代衣装貸出	6
6	学芸員・教育主事によるガイドの実施	6

## (2) 令和7年度 考古博物館事業経過・予定について

1	展示活動	7 ～ 8
2	学習会・講座など	8 ～ 9
3	イベント	9 ～ 12
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	12
5	古代衣装貸出	12
6	学芸員・教育主事によるガイドの実施	12

## (3) 考古博物館の利用状況について

1	利用者状況	13
2	常設展観覧者数過年度比較	14
3	考古博物館観覧数推移	15 ～ 17
4	学校関係利用状況	18 ～ 19
5	外国人利用者数	20

## (4) その他

1	デジタルアーカイブの導入について	21 ～ 22
2	重要文化財の指定について	23 ～ 29

◇	山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	30 ～ 33
---	-----------------------	---------

## (1) 令和6年度 考古博物館事業実績について

### 1 展示活動

#### (1) 第41回特別展「縄文時代の不思議な道具展」

会 期： 9月28日(土)～11月24日(日)

開催日数52日

会 場：当館

入館者：6,259人

概 要： 縄文時代にはミニチュアの土器や土製の石器、動物や植物の土製品など用途不明な不思議な道具が作られていました。これらは祈りやマツリのための道具、遊びの道具と考えられますが、その用途の多くはまだ解明されていないものがあります。縄文人が何を考え何に使おうとしたのか、モノの名前を付けるとしたらどんな名前がいいのか。縄文時代の子どもになったつもりで想像力をかきたたせ、縄文ファンタジーにいざなうことをねらいとしました。

#### (2) 企画展

##### ① 春季企画展『重要文化財指定25周年記念 一の沢遺跡出土品展』

会 期： 4月20日(土)～ 6月16日(日)

開催日数51日

会 場：当館多目的室

入館者：5,686人

概 要： 笛吹市一の沢遺跡出土の重要文化財指定品全てを25年ぶりに全品を一斉公開します。修復後の全品公開は初となります。中部高地に栄えた縄文時代中期の井戸尻式文化の代表的な資料から山梨の縄文資料の魅力に迫りました。

##### ② 夏季企画展『呪(まじな)いの世界展』

会 期： 7月13日(土)～ 9月 1日(日)

開催日数45日

会 場：当館多目的室

入館者：7,027人

概 要： 呪(まじな)いという人々の祈りの世界を山梨県から発見された考古資料を通して紹介していきます。古来より自然災害や病気といった災いを克服していくために、人々はどんな道具を使ってきたのかを紹介しました。

##### ③ 新年干支展『巳(み)』

会 期： 1月 2日(木)～ 1月26日(日)

開催日数17日

会 場：当館エントランスホール

入館者：796人

##### ④ 『第22回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 1月25日(土)～ 2月23日(日)

開催日数26日

会 場：当館多目的室

入館者：1,004名

##### ⑤ 『風土記の丘望見展』

会 期： 2月 1日(土)～ 3月30日(日)

開催日数50日

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

入館者：1, 310名

⑥ 『山梨の遺跡発掘展2025』

会 期： 3月 1日（土）～ 3月30日（日）

開催日数26日

会 場：当館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

入館者：1, 826名

## 2 学習会・講座など

### (1) 考古学講座

今年度は「地域の魅力を考古学で語る」をテーマに開催しました。県内の研究者を招き、テーマ毎に地域の魅力を紹介する機会としました。全5回

第1回 6月15日（土）「いっちゃんとわたしー5千年後の運命の出会い」

講師：中山 誠二（南アルプス市ふるさと文化伝承館 館長）

参加者39名

第2回 6月29日（土）「水晶考古学の最前線」

講師：一之瀬 敬一（当館学芸員）

参加者46名

第3回 7月13日（土）「縄文時代のヒスイ利用を考える

ー主に中部高地の事例からー」

講師：林 亮太（釈迦堂遺跡博物館 学芸員）

参加者44名

第4回 7月27日（土）「弥生壺とわたし」

講師：鷹野 あきこ（山梨県埋蔵文化財センター 文化財主事）

参加者30名

第5回 8月24日（土）「愉しみを醸す土器」

講師：小澤 英幸（南アルプス市教育委員会 主任・文化財主事）

参加者48名

### (2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説しました。

縄文時代に見られるマジカルな要素や特色について紹介しました。

第1回 6月 2日（日） 「縄文時代の黒曜石採掘坑と世界の採掘坑」

参加者 75名

第2回 9月 1日（日） 「縄文時代の環状列石とストーンヘンジ」

参加者130名

第3回 12月 8日（日） 「縄文時代に戦争はあったか」 参加者 85名

第4回 3月16日（日） 「パプアニューギニアの土器製作から見た縄文土器」

参加者 53名

### (3) 特別展記念講演会

第41回特別展『縄文時代の不思議な道具展』の開催を記念して、会期中に3回の基調講演会を実施し、特別展への理解を深める機会としました。

・場 所 風土記の丘研修センター（ネット同時配信）

・開催日

- 第1回 10月 6日(日) 中部大学講師 長田 友也  
「中部高地の精神文化」 参加者106名
- 第2回 10月27日(日) 佐倉市文化課 学芸員 小倉 和重  
「千葉県下の異形土製品」 参加者128名
- 第3回 11月24日(日) 当館 館長 高橋 龍三郎  
「動物形土製品の社会的機能と役割ー氏族制社会からの照射ー」  
参加者174名

(4) 親子ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

- 第1回 4月28日(日) 「古墳時代の勾玉の首飾づくり」  
参加者53名
- 第2回 5月26日(日) 「縄文時代の女神いっちゃんをつくろう」  
参加者43名
- 第3回 6月 9日(日) 「戦国時代の紙漉きでうちわづくり」  
参加者34名
- 第4回 7月21日(日) 「縄文と弥生の土笛づくり」  
参加者38名
- 第5回 8月18日(日) 「縄文時代の火起こし器を作って火を起こそう」  
参加者48名
- 第6回 9月15日(日) 「江戸時代の藍染め」  
参加者49名
- 第7回 10月 6日(日) 「弥生時代の石包丁づくり」  
参加者34名
- 第8回 11月10日(日) 「縄文時代の石製耳飾のペンダントづくり」  
参加者34名
- 第9回 12月 8日(日) 「縄文と干支の土鈴づくり」  
参加者35名
- 第10回 1月12日(日)・2月2日(日) 「縄文土器をつくって焼き上げよう」  
参加者44名
- 第11回 2月16日(日) 「縄文時代のかごづくり」  
参加者44名
- 第12回 3月 2日(日) 「縄文風陶器づくり」  
参加者48名

(5) 大人のものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)

- 第1回 4月20日(土)・21日(日) 「トンボ玉作り」  
参加者 4名
- 第2回 5月18日(土) 「縄文風陶器作り」  
参加者12名
- 第3回 6月 8日(土)・15日(土) 「一の沢遺跡の土偶作り」  
参加者11名
- 第4回 7月20日(土) 「草木染め体験」  
参加者12名
- 第5回 8月24日(土) 「青銅器作り～ミニミニ銅鐸～」

第6回	9月14日(土)	「網代編みのカゴ作り」	参加者 8名
第7回	10月26日(土)	「干支(巳)の土鈴とミニチュア土器作り」	参加者 15名
第8回	11月16日(土)・17日(日)・12月7日(土)	「小形彩文土器作り」	参加者 11名
第9回	1月11日(土)・18日(土)・2月2日(日)	「縄文土器作り」	参加者 12名
第10回	2月8日(土)・9日(日)	「青銅鏡形チョコレート作り」	参加者 12名
第11回	3月8日(土)	「古代遺物の石けん作り」	参加者 31名
			参加者 7名

### 3 イベント

#### (1) 第35回風土記の丘こどもまつり(公園指定管理者と共催)

参加者: 4,874名  
 5月3日(金・祝)・4日(土・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア  
 火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。

#### (2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- |   |               |                 |          |
|---|---------------|-----------------|----------|
| ① | 11月20日(水)     | 『県民の日イベント』      | 参加者 351名 |
| ② | 1月2日(木)・3日(金) | 『お正月イベント』       | 参加者 138名 |
| ③ | 3月9日(日)       | 『考古博物館 de 春まつり』 | 参加者 461名 |

#### (3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理者と共催)

- |   |                   |                |            |
|---|-------------------|----------------|------------|
| ① | 6月29日(土)～8月10日(土) | 『風土記の丘で七夕飾り』   | 参加者 151名   |
| ② | 6月29日(土)・30日(日)   | 『山梨の七夕人形を作ろう』  | 参加者 27名    |
| ③ | 9月7日(土)           | 『風土記の丘で星を見る会』  | 参加者 46名    |
| ④ | 10月13日(日)         | 『秋のふれあいまつり』    | 参加者 1,792名 |
| ⑤ | 11月4日(月・祝)        | 『樹木と古墳のガイドツアー』 | 参加者 19名    |
| ⑥ | 11月23日(土・祝)       | 『落ち葉で焼きいも』     | 参加者 170名   |
| ⑦ | 1月13日(月・祝)        | 『古代米でもちつき』     | 参加者 507名   |

#### (4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

日 時: 7月15日(月・祝)

会 場：アイメッセ山梨 参加者約 8 0 0 名

(5) 第 2 2 回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日 時：1 月 2 5 日（土）

会 場：考古博物館エントランスホール 参加者 7 7 名

(6) 縄文王国山梨

特別展記念講演会配信を縄文王国山梨 YouTube チャンネルで実施

(7) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業）

団体向けと少人数向けにそれぞれ実施しています。

① 火起こし体験 参加者 3, 9 3 7 名

② 勾玉作り 参加者 2, 1 5 3 名

③ 土鈴、石包丁、青銅鏡作り等 参加者 2 5 7 名

(8) 埋蔵文化財センターによる出張展示

① マチナカ博物館による外部出張展示を実施

8 月 1 1 日（日・祝）会場：甲府城跡 参加者 5 1 0 名

（小江戸甲府の夏祭りにて日本遺産を紹介）

② マチナカ博物館 2 による外部出張展示を実施

1 2 月 1 日（日） 会場：金精軒葎崎店 参加者 1 3 3 名

（Jomon Sweets Festival2024 にて縄文資料を紹介）

③ 山の洲文化財交流事業による出張展示を実施

1 月 1 3 日（月・祝）会場：長野県立美術館 参加者 4 0 名

（「こうこがく、考古楽一体験して学ぶ考古学」を開催）

④ マチナカ博物館 3 による外部出張展示を実施

3 月 1 日（土） 会場：甲府駅北口よっちゃばれ広場 参加者 6 5 4 名

（こうふはっこうマルシェ 2025 にて日本遺産を紹介）

(9) 観光・地域活性化に向けた取り組み

① 日本遺産や縄文文化ブランドを活用した取り組み強化

② 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

(10) 海外博物館との交流

新北市立十三行博物館（台湾（中華民国））

4 月 1 8 日（木） 2024 新北市国際考古学フォーラムにて動物をテーマとして発表

参加者：1 4 5 名

4 月 2 0 日（土）・2 1 日（日）

2024 新北市考古生活フェスティバルにてワークショップの対応。

青銅鏡作りと土器の VR 体験

参加者総数：3 8, 0 0 0 名

## 4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7 月 2 5 日（木）～8 月 4 日（日）

都留文科大学教養学部 1 名

都留文科大学文学部 1 名

(2) 職場体験 学校向け

7月23日(火)・24日(水)	甲府市立西中学校	2名
7月23日(火)・24日(水)	甲府市立南中学校	1名
7月23日(火)・24日(水)	甲府市立城南中学校	1名
8月6日(火)	南アルプス市立甲西中学校	1名
8月7日(水)・8日(木)	南アルプス市立若草中学校	1名
8月7日(水)・8日(木)	甲府市立富竹中学校	1名
8月15日(木)・16日(金)	笛吹市立浅川中学校	1名
8月20日(火)・21日(水)	甲府市立北東中学校	4名
8月27日(火)・28日(水)	笛吹市立一宮中学校	1名

(3) インターンシップ

8月12日(月・祝)・13日(火)	山梨県立甲府南高等学校	1名
-------------------	-------------	----

## 5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。  
主に学校、団体向けに貸出しています。

4月4日(木)～5月3日(金・祝)	茅ヶ崎市小出地区まちぢから協議会
4月30日(火)～5月24日(金)	県立富士見支援学校
6月29日(土)～7月27日(土)	富士河口湖町立大石小学校
8月2日(金)～8月6日(火)	山梨市ユネスコ協会
9月3日(火)～10月2日(水)	県立特別支援学校うぐいすの杜学園
11月14日(木)～12月14日(土)	県立わかば支援学校

## 6 学芸員・教育主事によるガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施しました。

学校(県内77校・県外45校)	122校
一般	40団体



## (2) 令和7年度 考古博物館予定事業について

### 1 展示活動

#### (1) 第42回特別展「PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える-パプアニューギニアの民族誌一展」

会 期： 9月27日（土）～12月7日（日）

開催日数65日

会 場：当館展示室

共 催：早稲田大学

後 援：パプアニューギニア大使館、国際機関太平洋諸島センター

概 要： 早稲田大学に収蔵されるオセアニア資料を基に、同大学考古学研究室が長期にわたり調査したパプアニューギニアの資料を加え、儀礼・精神文化が深く関わる土器の型式成立と変化を縄文土器に照らし併せて、その類似性から縄文時代の謎に迫る企画展です。国内の著名な遺跡の出土品と共に紹介します。

#### (2) 企画展

##### ① 春季企画展『帆立貝古墳のミステリー ―三珠大塚古墳と甲府盆地の5世紀一展』

会 期： 4月19日（土）～ 6月15日（日）

開催日数50日

会 場：当館多目的室

共 催：市川三郷町

入館者：5, 440人

概 要： 市川三郷町に存在する県指定史跡大塚古墳出土品の有形文化財指定品全品を町の再整理事業に合わせて一斉公開しました。『宋書』の「倭国伝」などに登場する「倭の五王」の時代、山梨の古墳時代中期の謎に迫りました。

##### ② 夏季企画展『釣手土器の世界展』

会 期： 7月12日（土）～ 8月31日（日）

開催日数45日

会 場：当館多目的室

入館者：4, 789人

概 要： 学史的には香炉形土器などとも称されている釣手土器は、口縁部に把手が付き、火を用いた呪（まじな）いの道具として用いられたと考えられています。山梨県を中心とした縄文時代中期の遺跡から発見されている不思議な形の土器を一堂に会し紹介しました。

##### ③ 新年干支展『午（うま）』

会 期： 1月 2日（木）～ 1月26日（日）

開催日数16日

会 場：当館エントランスホール

##### ④ 『第23回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 1月31日（土）～ 2月22日（日）

開催日数19日

会 場：当館多目的室

##### ⑤ 『風土記の丘望見展』

会 期： 1月31日（土）～ 4月 5日（日）

開催日数55日

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑥ 『山梨の遺跡発掘展 2026』

会 期： 3月 7日（土）～ 4月 5日（日）

開催日数 26日

会 場：当館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

## 2 学習会・講座など

### (1) 考古学講座

今年度は「遺跡発掘秘話」をテーマとして、県内の著名な遺跡の発掘者をお呼びし、発掘時のエピソードを交えて、遺跡の魅力を紹介する機会としました。第4回は発掘者と学芸課長との対談型式で実施しました。

第1回 6月14日（土）「北杜市丘の公園遺跡群発掘秘話」

講師：保坂 康夫（身延山大学 講師）

参加者 51名

第2回 6月28日（土）「北杜市金生遺跡発掘秘話」

講師：新津 健（山梨県考古学協会 会長）

参加者 58名

第3回 7月12日（土）「甲斐市金の尾遺跡発掘秘話」

講師：末木 健（山梨県考古学協会 名誉会長）

参加者 58名

第4回 7月26日（土）「甲州市安道寺遺跡発掘秘話」

講師：野代 幸和（当館 学芸課長）

参加者 50名

※対談形式で実施予定だったが、発掘者である小林広和氏が体調不良のため、野代課長1人で実施しました。

### (2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

縄文時代に見られるマジカルな要素や特色について紹介します。

第1回 6月 8日（日） 「石器時代に最も近い国パプアニューギニア」

参加者 60名

第2回 9月 1日（日） 「オセアニア民族誌と考古学」 参加者 45名

第3回 12月 7日（日） 「科学で読み解く縄文社会」

第4回 3月22日（日） 「縄文土器を作った人々の心象世界」

### (3) 特別展記念講演会

第42回特別展「PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える-パプアニューギニアの民族誌一展」の開催を記念して、講演いただきました。

会期中に基調講演会と座談会を実施して、特別展への理解を深める。

・日 時 10月26日（日）

・場 所 風土記の丘研修センター（ネット同時配信）

・基調講演

高橋館長「パプアニューギニアの民族誌の調査」

・講演会

中門亮太（早稲田大学准教授）「パプアニューギニアの民族造形」

平原信崇(千葉県教育庁文化財課) 「イーストケープの土器づくり」  
 根岸 洋(東京大学准教授)「パプアニューギニアにおける新石器時代以降の  
 展開」

(4) 親子ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

- |      |                 |                       |        |
|------|-----------------|-----------------------|--------|
| 第1回  | 5月11日(日)        | 「古墳時代の大きな勾玉のペンダントづくり」 | 参加者26名 |
| 第2回  | 6月1日(日)         | 「古墳時代の埴輪をつくろう」        | 参加者28名 |
| 第3回  | 7月6日(日)         | 「戦国時代の紙漉きでうちわづくり」     | 参加者32名 |
| 第4回  | 8月3日(日)         | 「縄文風陶器づくり」            | 参加者26名 |
| 第5回  | 8月24日(日)        | 「弥生時代の矢じりのペンダントづくり」   | 参加者30名 |
| 第6回  | 9月14日(日)        | 「江戸時代の藍染め」            | 参加者33名 |
| 第7回  | 10月5日(日)        | 「縄文時代の土面づくり」          |        |
| 第8回  | 11月9日(日)・30日(日) | 「縄文土器を作って焼き上げよう」      |        |
| 第9回  | 12月7日(日)        | 「縄文と干支の土鈴づくり」         |        |
| 第10回 | 1月25日(日)        | 「火起こし器をつくって火を起こそう」    |        |
| 第11回 | 2月15日(日)        | 「弥生時代の土笛づくり」          |        |
| 第12回 | 3月1日(日)         | 「縄文の土偶づくり」            |        |

(5) 大人のものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)

- |      |                           |                      |        |
|------|---------------------------|----------------------|--------|
| 第1回  | 4月19日(土)・20日(日)           | 「蜜柑玉・トンボ玉作り」         | 参加者10名 |
| 第2回  | 5月24日(土)                  | 「埴輪(巫女形)作り」          | 参加者6名  |
| 第3回  | 7月19日(土)                  | 「青銅器作り～蔵手刀形ペーパーナイフ～」 | 参加者6名  |
| 第4回  | 8月23日(土)                  | 「コーヒー染めのエコバック作り」     | 参加者6名  |
| 第5回  | 9月27日(土)                  | 「貝を使ったパプア風ネックレス作り」   | 参加者6名  |
| 第6回  | 10月25日(土)                 | 「パプア風顔面装飾土器作り」       |        |
| 第7回  | 11月15日(土)                 | 「干支(午)の土鈴と陶器作り」      |        |
| 第8回  | 12月20日(土)・1月10日(土)・31日(土) | 「縄文土器作り」             |        |
| 第9回  | 2月7日(土)・8日(日)             | 「青銅鏡形チョコレート作り」       |        |
| 第10回 | 3月14日(土)                  | 「石製ペンダント作り」          |        |

### 3 イベント

(1) 第36回風土記の丘こどもまつり(公園指定管理者と共催)

参加者: 4,166名  
 5月3日(金・祝)・4日(土・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア

火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- ① 11月20日(木) 『県民の日イベント』
- ② 1月2日(金)・3日(土) 『お正月イベント』
- ③ 3月8日(日) 『考古博物館 de 春まつり』

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理者と共催)

- ① 6月21日(土)～7月6日(土) 『風土記の丘で七夕飾り』  
参加者92名
- ② 7月5日(土)・6日(日) 『山梨の七夕人形を作ろう』  
参加者42名
- ③ 10月19日(日) 『秋のふれあいまつり』
- ④ 10月25日(土) 『風土記の丘で星を見る会』
- ⑤ 11月3日(月) 『樹木と古墳のガイドツアー』
- ⑥ 11月23日(土) 『落ち葉で焼きいも!』
- ⑦ 1月12日(月・祝) 『古代米でもちつき大会』

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

アイメッセ山梨にて開催、参加 参加者約700人

(5) 第23回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日時: 1月31日(土)  
会場: 考古博物館エントランスホール

(6) 縄文王国山梨

第42回特別展記念講演会のWEB配信を、縄文王国山梨チャンネルにて実施

(7) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)  
(9月末日現在)

団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。

- ① 火起こし体験 参加者2,594名
- ② 勾玉作り 参加者1,774名
- ③ 土鈴、石包丁、青銅鏡作り等 参加者266名

(8) 埋蔵文化財センターによる縄文土器等出張展示

- ① マチナカ博物館による外部出張展示を実施  
マチナカ博物館「山梨デザインセンター『縄文のデザイン展』関連ワークショップ」4月19日(土)  
山梨デザインセンター 参加者: 35名  
・マチナカ博物館2「第7回小江戸甲府の夏祭りー日本遺産星降る中部高地の縄文世界」8月11日(月・祝)  
舞鶴城公園南芝生広場 参加者: 307名  
・マチナカ博物館3「縄文 vs 古墳」8月22日(金)・23日(土)

(9) 観光・地域活性化に向けた取り組み

- ① 日本遺産や縄文文化ブランドを活用した取り組み強化
- ② 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

(10) 海外博物館等との交流

- ① 新北市立十三行博物館（台湾（中華民国））館長以下 2 名で参加。

学術交流協定締結・イベント参加。（5 月 21 日（水）～26 日（月））

5 月 22 日（木）

2025 新北市国際考古学フォーラムにて高橋館長が縄文の生業をテーマに発表。

参加者：約 100 名

5 月 23 日（金）

十三行博物館と当館との学術交流協定締結調印式

高橋館長と羅館長で調印。

5 月 24 日（土）・25 日（日）

2025 新北市考古生活フェスティバルにてスポーツをテーマとしたワークショップの対応。揉み錐による火起こし体験（雨天のため煙が出るまでのタイムを競う方法に変更。）、観光パンフの配布等。

フェスティバル参加者総数：26,000 名

- ② 国立清州博物館（大韓民国）

日韓国交正常化 60 周年を記念し、国立清州博物館が企画した特別展「富士山に登る、山梨」のオープニングイベント等に館長以下 1 名参加（当館所蔵資料も一の沢・酒呑場遺跡の重要文化財など 20 点貸出）（9 月 3 日（水）～6 日（土））

9 月 3 日（水）

国立清州博物館表敬訪問

9 月 4 日（木）

特別展開幕式

9 月 5 日（金）

記念講演会

「山梨県における縄文時代の歴史と文化」をテーマに高橋館長が講演。

参加者：約 50 名

国立忠北大学博物館見学

- ③ 四川省（中華人民共和国）

四川省と山梨県の友好県省締結 40 周年記念事業として、文化的交流事業を観光文化・スポーツ部が推進している。12 月にフォーラムを予定。

○四川省友好県省締結 40 周年知事訪問団

学芸員 1 名が参加（10 月 26 日（日）～29 日（水））

10 月 27 日（月）

三星堆博物館表敬訪問（12 月に招聘予定の朱亜蓉（ジュウ ヤーロン）館長と打合）、四川省文物局・四川省博物院表敬訪問

10 月 28 日（火）

成都博物館を表敬訪問

○四川省友好県省締結 40 周年記念フォーラム

四川省から四川大学李映福教授、三星堆博物館朱亜蓉（ジュウ ヤーロン）館長を県で招聘し、文化交流のフォーラムを開催予定。

12月21日（日）

甲府記念日ホテルにて開催。高橋館長がディスカッションに参加予定。

#### 4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7月24日（木）～8月3日（日）

国土舘大学文学部 1名

東京女子大学現代教養学部 1名

(2) 職場体験 学校向け

7月23日（水） 甲府市立西中学校 1名

7月29日（火）・30日（水） 県立ろう学校 1名

7月31日（木） 甲府市立東中学校 1名

7月31日（木） 甲府市立笛南中学校 2名

8月1日（金）・2日（土） 甲府市立城南中学校 2名

8月5日（火） 甲府市立甲西中学校 2名

8月14日（木）・15日（金） 甲府市立北東中学校 1名

8月14日（木）・15日（金） 昭和町立押原中学校 1名

8月15日（金） 甲府市立城南中学校 2名

9月3日（水） 私立山梨学院中学校 5名

計 9校 18名

(3) インターンシップ

8月13日（水）・14日（木） 私立日々輝学園高等学校 1名

#### 5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。

主に学校、団体向けに貸出。

4月8日（火）～ 5月7日（水） 小出地区まちぢから協議会

6月17日（火）～ 7月16日（水） 板橋区立天津わかしお学校

9月10日（水）～ 9月10日（水） 私立聖心女学院初等科

#### 6 学芸員・教育主事によるガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施（9月末日現在）。

学校（県内30校・県外19校） 49校

一般 33団体

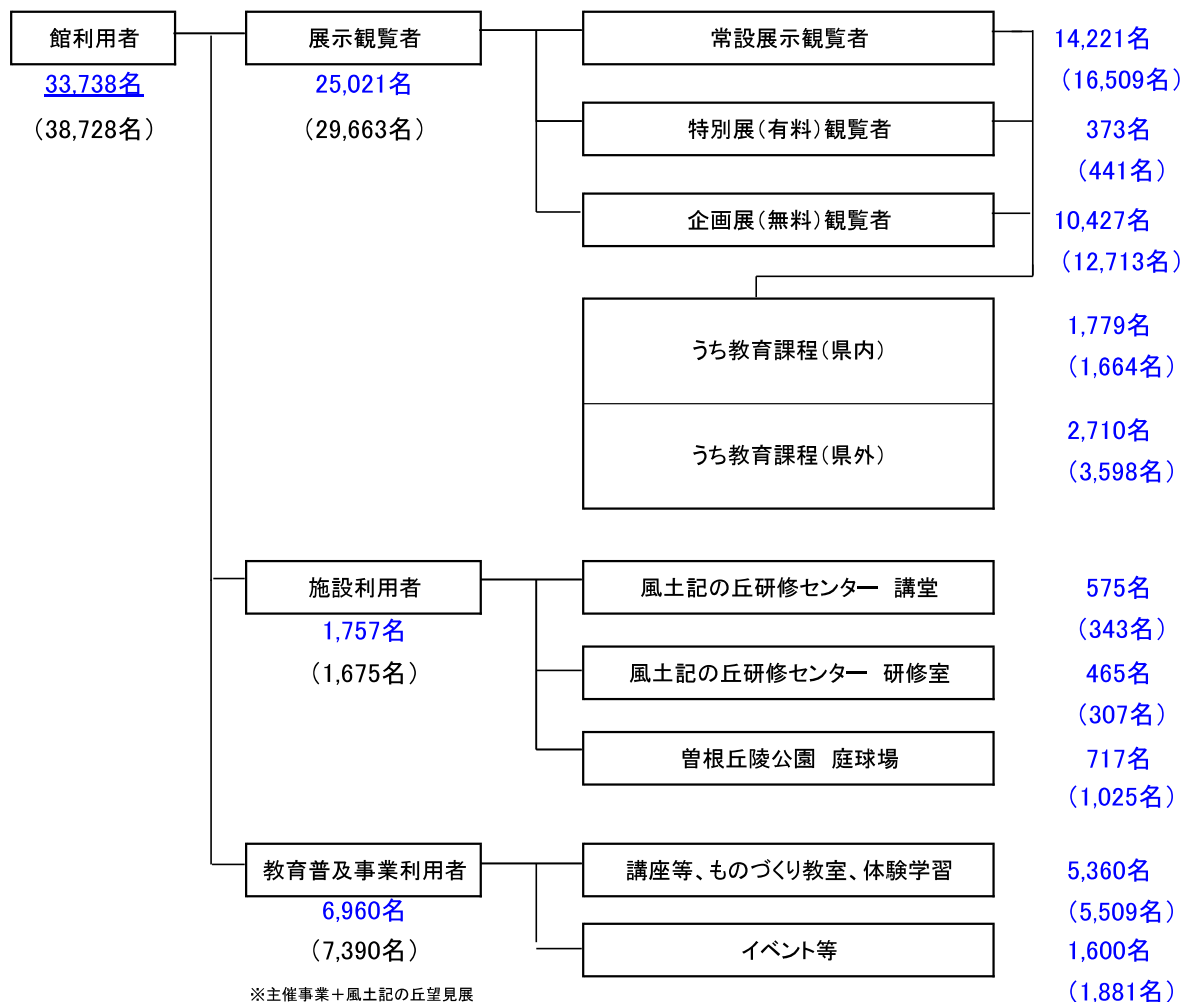
### (3) 考古博物館の利用状況について

#### 1 令和7年度 考古博物館における「利用者」の状況

※ 令和7年度9月末現在

○ 考古博物館の利用者とは、考古博物館の施設、提供するサービスを利用した者および考古博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。

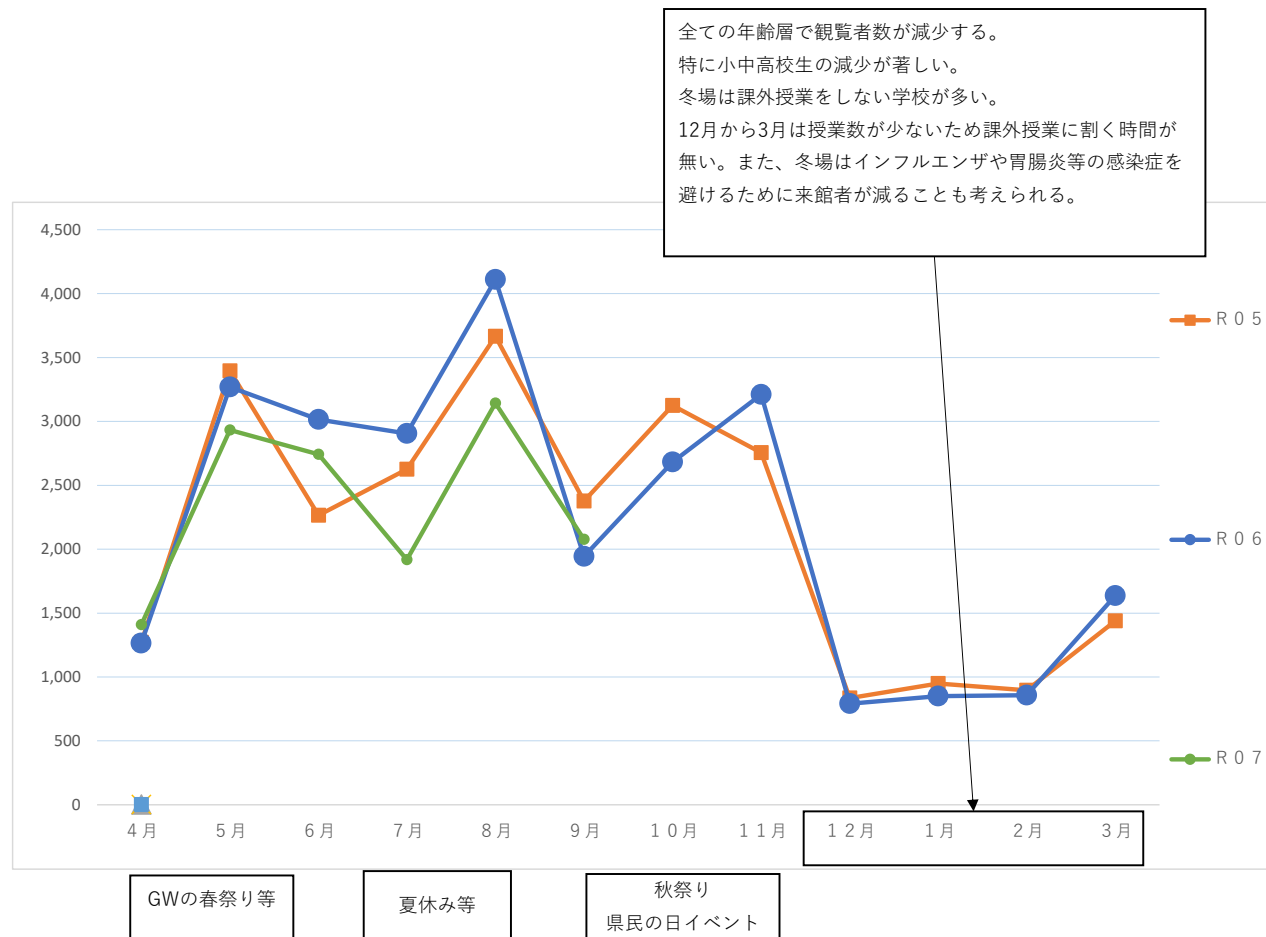
※ ( ) は前年同時期



## 2 常設展観覧者数過年度比較

単位：人

常設展 観覧者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9月末 まで	合計
R 0 5	1,270	3,396	2,266	2,625	3,666	2,376	3,124	2,756	835	949	896	1,438	15,599	25,597
R 0 6	1,265	3,269	3,015	2,906	4,110	1,944	2,683	3,211	791	850	858	1,636	16,509	26,538
R 0 7	1,409	2,933	2,742	1,917	3,143	2,077							14,221	14,221





### 3 考古博物館 観覧者数推移（常設展・特別展）

（単位：人）

年度	開館 日数	常設展	特別展	合 計 (常設＋特別)	累計
57	115	30,687		30,687	30,687
58	295	48,795	8,395	57,190	87,877
59	298	40,722	5,239	45,961	133,838
60	298	35,628	4,015	39,643	173,481
61	302	38,106	10,014	48,120	221,601
62	298	38,880	3,517	42,397	263,998
63	296	39,554	5,123	44,677	308,675
1	299	42,682	5,625	48,307	356,982
2	301	47,602	6,597	54,199	411,181
3	300	44,935	5,789	50,724	461,905
4	296	40,795	6,174	46,969	508,874
5	289	40,640	4,591	45,231	554,105
6	294	35,036	6,286	41,322	595,427
7	291	47,962	90,082	138,044	733,471
8	283	30,950	18,483	49,433	782,904
9	291	25,575	5,195	30,770	813,674
10	290	25,080	13,165	38,245	851,919

### 3 考古博物館 観覧者数推移（常設展・特別展）

（単位：人）

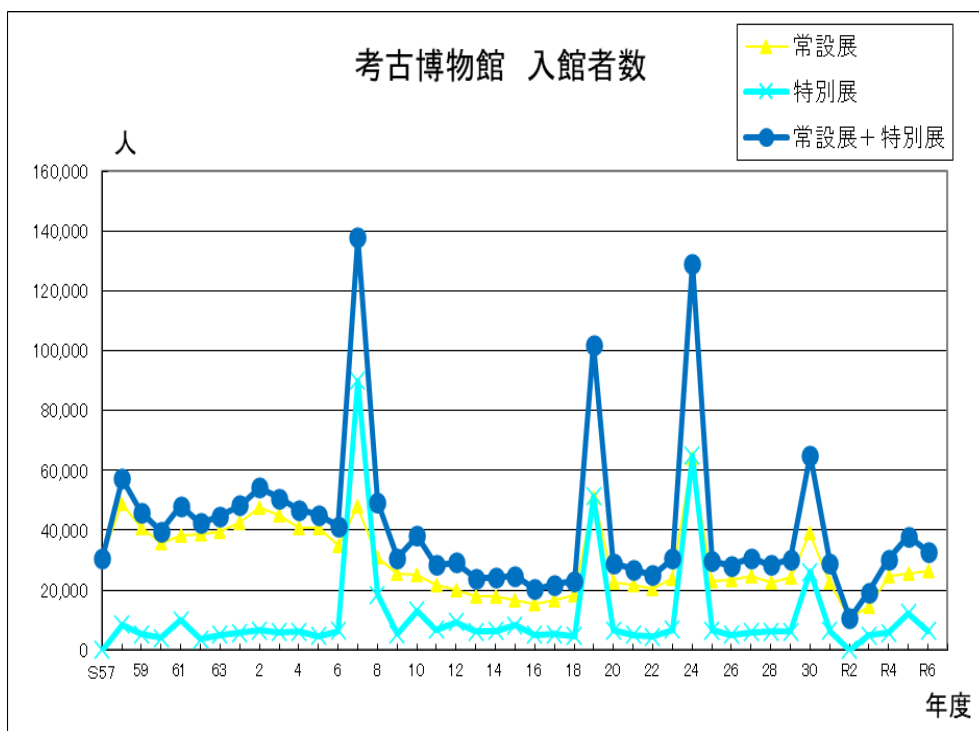
年度	開館 日数	常設展	特別展	合 計 (常設＋特別)	累計
11	288	21,636	6,812	28,448	880,367
12	288	20,094	9,227	29,321	909,688
13	292	17,989	6,035	24,024	933,712
14	289	17,879	6,373	24,252	957,964
15	290	16,602	8,127	24,729	982,693
16	298	15,346	5,064	20,410	1,003,103
17	296	16,555	5,154	21,709	1,024,812
18	300	18,428	4,613	23,041	1,047,853
19	301	50,887	51,241	102,128	1,149,981
20	298	22,493	6,549	29,042	1,179,023
21	290	21,847	5,068	26,915	1,205,938
22	300	20,570	4,329	24,899	1,230,837
23	299	23,659	6,773	30,432	1,261,269
24	296	64,356	64,865	129,221	1,390,490
25	293	23,125	6,545	29,670	1,420,160
26	268	23,227	5,017	28,244	1,448,404
27	297	24,722	5,945	30,667	1,479,071
28	297	22,371	6,044	28,415	1,507,486
29	296	24,223	6,067	30,290	1,537,776
30	296	39,047	25,981	65,028	1,602,804

### 3 考古博物館 観覧者数推移（常設展・特別展）

（単位：人）

年度	開館 日数	常設展	特別展	合 計 (常設＋特別)	累計
31 (R1)	268	22,678	6,308	28,986	1,631,790
2	261	10,460	0	10,460	1,642,250
3	261	14,435	4,768	19,203	1,661,453
4	297	24,750	5,631	30,381	1,691,834
5	293	25,597	12,313	37,910	1,729,744
6	296	26,538	6,259	32,797	1,762,541
計	12,384	1,283,143	479,398	1,762,541	

R04～R06 平均	25,628	8,068	33,696
------------	--------	-------	--------



#### 4－1 学校関係利用状況

令和7年9月末現在

県内＋県外 利用の状況		R7年度 (9月末)		R6年度 (3月末)		R5年度 (3月末)	
施設利用 (常設展)		83件	4,489人	126件	6,925人	109件	5,496人
	小学校	67件	3,224人	106件	5,608人	83件	3,877人
	中学校	15件	726人	17件	509人	21件	942人
	高校	1件	61人	3件	133人	5件	152人
	その他 (児相など)	0件	0人	0件	0人	0件	0人
	引率者	－	478人	－	675人	－	525人
職場体験		10件	19人	9件	13人	22件	42人
教材貸出 (古代衣装)		2件	－	6件	－	9件	－
合 計		95件	4,508人	141件	6,938人	140件	5,538人

#### 4-2 学校関係利用状況（市町村別）

		人口	R7（9月末）		R6		R5	
		R7.9	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
国中	1 甲府市	185,049	9	339	20	675	14	669
	2 山梨市	31,522	2	85	3	78	5	264
	3 韭崎市	27,671	0	0	4	204	3	178
	4 南アルプス市	69,814	3	59	5	147	3	63
	5 北杜市	42,643	2	73	5	181	3	57
	6 甲斐市	75,578	1	33	7	454	10	433
	7 笛吹市	64,794	2	237	2	40	0	0
	8 甲州市	27,181	1	18	3	102	0	0
	9 中央市	30,768	5	184	6	251	7	334
	10 市川三郷町	13,445	6	113	5	50	5	56
	11 早川町	895	0	0	0	0	1	11
	12 身延町	8,928	2	27	2	18	2	63
	13 南部町	6,285	1	12	4	46	2	27
	14 富士川町	13,264	0	0	1	81	1	77
	15 昭和町	21,800	0	0	1	79	1	29
郡内	16 富士吉田市	44,198	0	0	0	0	1	17
	17 都留市	29,246	1	116	1	110	3	134
	18 大月市	20,251	0	0	0	0	0	0
	19 上野原市	20,896	1	20	1	22	1	23
	20 道志村	1,455	0	0	0	0	1	20
	21 西桂町	3,633	1	28	1	36	0	0
	22 忍野村	9,221	1	125	0	0	0	0
	23 山中湖村	5,187	0	0	1	10	2	32
	24 鳴沢村	2,776	0	0	0	0	0	0
	25 富士河口湖町	26,608	10	310	8	336	9	277
	26 小菅村	590	0	0	0	0	0	0
	27 丹波山村	477	0	0	0	0	0	0
県外	28 東京都		32	2,560	42	3,636	34	2,699
	29 静岡県		2	82	3	309	1	33
	30 長野県		0	0	0	0	0	0
	31 神奈川県		1	68	1	60	0	0
合計			83	4,489	126	6,925	109	5,496

（参考）県内利用者のうち国中・郡内比率

	人口	R7（9月末）		R6		R5	
		学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
国中地域	619,637	34	1,180	68	2,406	57	2,261
	(79%)	(71%)	(66%)	(85%)	(82%)	(77%)	(82%)
郡内地域	164,538	14	599	12	514	17	503
	(21%)	(29%)	(34%)	(15%)	(18%)	(23%)	(18%)
県外		35	2,710	46	4,005	35	2,732
合計	784,175	83	4,489	126	6,925	109	5,496

## 5 外国人利用者数

令和5年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月～6月	13	0	11	22	19	65	山梨の遺跡展 ～4/9 春季企画展 4/15～6/11
7月～9月	18	4	7	21	1	51	特別展開催(山梨の縄文世界)7/8～9/3 特別巡回展開催(発掘された日本列島)9/16～
10月～12月	30	2	4	25	4	65	特別巡回展開催(発掘された日本列島)～10/29 山の洲文化財交流展12/9～
1月～3月	31	0	4	21	6	62	山の洲文化財交流展～1/21 わたしたちの研究室 2/10～3/3 山梨の遺跡展 3/9～
合計	92	6	26	89	30	243	中国37.9% 韓国2.5% アジア10.7% 欧米36.6% 他12.3%

令和6年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月～6月	14	5	2	24	0	45	山梨の遺跡展 ～4/7 春季企画展 4/20～6/16
7月～9月	30	3	5	13	5	56	夏季企画展 7/13～9/1 特別展(縄文時代の不思議な道具)9/28～
10月～12月	16	5	3	27	3	54	特別展(縄文時代の不思議な道具)～11/24
1月～3月	7	3	5	22	0	37	わたしたちの研究室 1/25～2/23 山梨の遺跡展 3/1～3/30
合計	67	16	15	86	8	192	中国34.9% 韓国8.3% アジア7.8% 欧米44.8% 他4.2%

令和7年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月～6月	7	0	7	23	4	41	春季企画展 4/19～6/15
7月～9月	26	9	7	23	3	68	夏季企画展 7/12～8/31 特別展(PAPUA×JOMON縄文文化の謎を考えるーパプアニューギニアの民族誌ー)9/27～
10月～12月							特別展(PAPUA×JOMON縄文文化の謎を考えるーパプアニューギニアの民族誌ー)～12/7
1月～3月							わたしたちの研究室 1/31～2/22 山梨の遺跡展 3/7～
合計	33	9	14	46	7	109	中国30.3% 韓国8.3% アジア12.8% 欧米42.2% 他6.4%

・令和7年度の外国人利用者数は、昨年度と同程度の水準

## (4) その他

### 1 デジタルアーカイブの導入について

#### (1) 概要

令和5年4月に博物館法の改正が行われ、博物館の行う目的を達成するための事業として「電磁的記録の作成・公開」が盛り込まれた。改正博物館法への対応として、新たにデジタルアーカイブシステムを導入し、収蔵資料を電子管理するとともに、一部をインターネットで公開する。

#### (2) デジタルアーカイブシステムについて

- ・ 収蔵資料データをシステムで一元管理する。システム化することで効率的な管理が可能。
- ・ 当館の収蔵資料のうち、公開可能なものはインターネットで公開する。重要文化財など県民の関心が高いもの、日本遺産の構成資産として更なる活用が求められるものを中心に、2027年までに100点の資料について公開を行う計画。

【掲載計画】 2025年度末 10点

2026年度末 50点

2027年度末 100点

⇒ 広く一般の来訪者に向けて、コレクションをオンラインでアピールすることで、利用者は、来館せずにインターネットで資料を閲覧することができ、当館の認知度を高め、来館促進や利用者満足度の向上につなげる。

⇒ 観光客等の来訪者、学校教育関係者、国内外の研究者や考古資料愛好者へコレクションを周知し、学校教育の充実や研究推進等も含めた利用者へのサービス向上を図る。

- ・ 「やまなしデータプラットフォーム」に公開資料のオープンデータを掲載することで、より広汎な利用者に情報発信を行う。

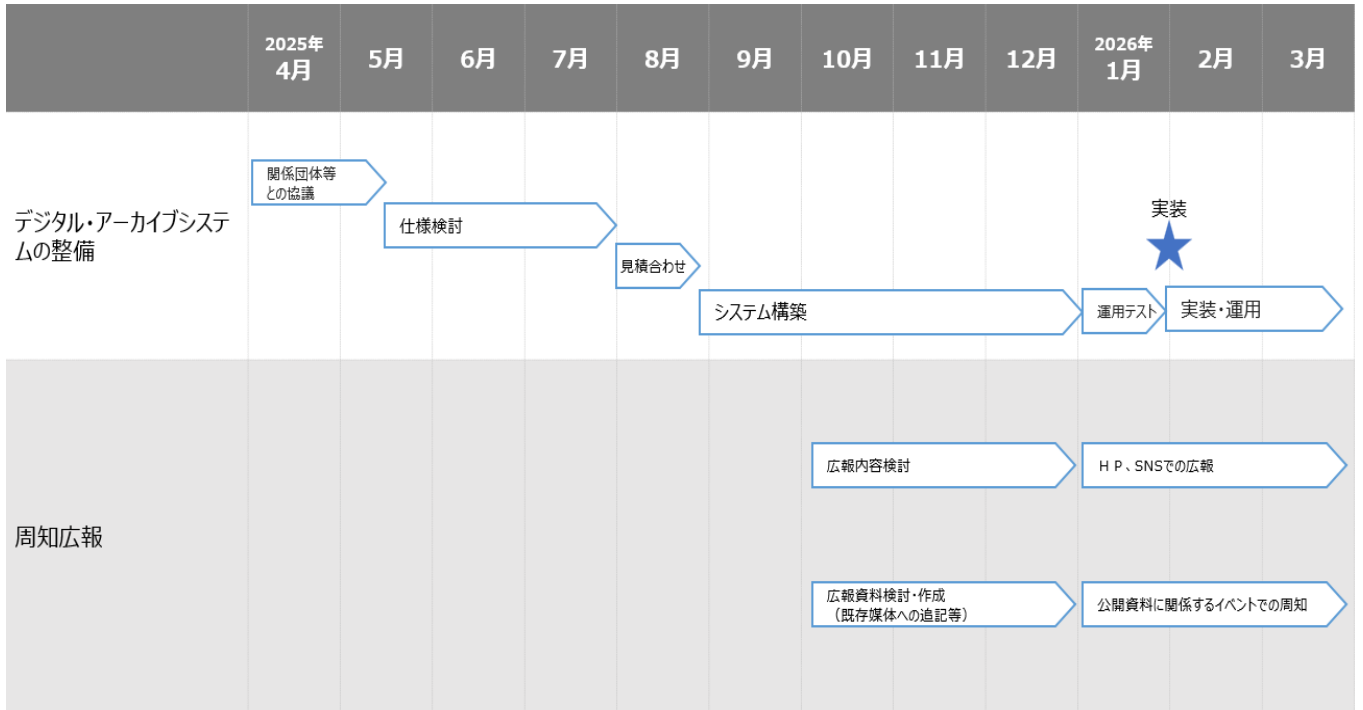
#### (3) 周知・広報

- ・ 当館ホームページ・広報誌・SNSによりシステムの導入、利用方法を周知。

(システム導入時と、その後月に1回程度周知を行う。)

- ・ インターネットで公開する資料と関連する展覧会・イベント等の来館者に向けて、館内表示の作成、職員による説明を随時実施。

#### (4) 導入スケジュール







令和七年三月

国宝・重要文化財議案説明書

考古資料の部

四、深鉢形土器ふかばちがたどき

一箇

山梨県（山梨県立考古博物館保管）

附 深鉢形土器

一箇

深鉢形土器把手

四点

山梨県安道寺遺跡土坑出土あんどうじいせきどこう

法 量

総 高	八三・〇センチメートル	器 高	六五・五センチメートル
口 径	四〇・〇センチメートル	最大幅	五九・〇センチメートル
底 径	一六・〇センチメートル		

（附は別添目録参照）

時代または年代

縄文時代

説 明

本件は、山梨県甲州市塩山こうしゅうしえんざんに所在する、安道寺遺跡第十七号住居跡内の土坑から出土した、縄文時代中期後半の深鉢形土器である。

安道寺遺跡は、甲府盆地東縁の大菩薩嶺だいぼさつれい西麓に位置し、遺跡の北側を流れる重川おもかわの支流が形成した、南側に緩やかな傾斜がある扇状地形の台地上に立地している。主に縄文時代中期の集落跡である安道寺遺跡の周辺には、重要文化財指定された深鉢形土器が出土した殿林遺跡とのばやしなど、多くの縄文時代中期の遺跡が確認されている。

る。

昭和五十一年（一九七六）、農林省<sup>ふえんがわ</sup>笛吹川土地改良事業管水路埋没工事に先だって、山梨県教育委員会が行った発掘調査で縄文時代中期後半を主体とする竪穴住居跡十九基が確認された。平成二十一・二十二年（二〇〇九・二〇一〇）には、甲州市教育委員会による試掘調査や緊急的な発掘調査が行われた。平成二十六・二十七年（二〇一四・二〇一五）には、山梨県埋蔵文化財センターが実施した国営施設機能保全事業に先立つ詳細分布調査事業で、試掘調査と分布調査が行われ、安道寺遺跡の範囲が台地上の広範囲に広がっていたことが推測された。

本件はこれら一連の調査のうち、昭和五十一年（一九七六）の調査で出土した、きわめて大形の深鉢形土器である。器形は底部に向かつて窄まる砲弾形で、底部は平底を呈する。渦巻文、円形文、蛇行文などが複雑に施文される四単位の大形の把手が最たる特徴で、胴部には隆帯や半隆線などでU字文、渦巻文、四単位の袋状突起などが施され、これらの加飾に富んだ文様が器面を埋めている。この特徴は、中部高地を中心に分布する縄文時代中期後半の曾利式<sup>そり</sup>土器に特有で、把手装飾などの諸特徴から「水煙文土器<sup>すいえんもん</sup>」と呼称され、曾利式の初期段階に位置付けられている。大きさに対し、九割が残る遺存状態は特筆される。また、同様の水煙文土器や他の曾利式土器が多く組成される「山梨県釈迦堂<sup>しゃかどう</sup>遺跡出土品」（重要文化財）や、同じく曾利式土器の山梨県殿林遺跡出土の「深鉢形土器」（重要文化財）などと比肩される逸品であり、列島内の縄文土器全体と比較しても、姿形や文様の優れた屈指の大形土器である。

また土坑からは、他の深鉢形土器一箇と別個体の把手四点が併せて折り重なるように出土しており、埋納さ

れた状態で発見されている。埋納順序は、まず附の深鉢形土器を坑底に横たえ、把手四点のうち一点をその内部に入れる。その後、横たえた深鉢形土器の底部側上面に把手三点を配置する。その上部に、本指定の深鉢形土器の把手から胴上半部片を並べ、さらに上部に胴下半部片を敷いている。このように、埋納の状態や順序をつぶさに認識できる出土事例は非常に稀少であるため、深鉢形土器一箇および深鉢形土器把手四点も、附として共に保存をはかりたい。

本品は、姿形の卓越性、複雑な文様の装飾性により、中部高地における縄文時代の造形技術の極致をよく示している。なおかつ、埋納という象徴的な出土状況は、縄文土器の儀礼的利用の実態をよく表しており、学術的価値は高い。

#### 【指定基準】

一 土器、石器、木器、骨角牙器、玉その他縄文時代及びそれ以前の遺物で学術的価値の特に高いもの

#### 【参考】

山梨県教育委員会『安道寺遺跡調査報告書（概報）』昭和五十三年

保坂康夫「山梨県甲州市安道寺遺跡の特殊な土器埋納遺構」『研究紀要』二十五 山梨県立考古博物館・山

梨県埋蔵文化財センター 平成二十一年



7 文庁第 3 0 2 7 号

山梨県

文化財保護法（昭和 2 5 年法律第 2 1 4 号）第 2 7 条第 1 項の規定に基づき、別紙の表に掲げる貴所有の有形文化財を重要文化財に指定したので、同法第 2 8 条第 1 項の規定に基づき通知する。

令和 7 年 9 月 2 6 日

文 部 科 学 大 臣      阿   部   俊   子  
（公 印 省 略）

（官報告示 令和 7 年 9 月 2 6 日付け文部科学省告示第 1 1 9 号）

（注）

- 1 この処分に不服がある場合は、行政不服審査法（平成 2 6 年法律第 6 8 号）の規定により、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内に、文部科学大臣に対して審査請求をすることができます（なお、処分があった日の翌日から起算して 1 年を経過した場合には審査請求をすることができなくなります。）。
- 2 この処分の取消しを求める訴訟を提起する場合は、行政事件訴訟法（昭和 3 7 年法律第 1 3 9 号）の規定により、この処分があったことを知った日から 6 か月以内に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、東京地方裁判所又は原告の普通裁判籍の所在地を管轄する高等裁判所の所在地を管轄する地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、処分があったことを知った日から 6 か月以内であっても、処分の日から 1 年を経過した場合には処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

（担当）文化庁文化財第一課審議会係  
TEL : 075-451-4111（内線 9722）



深鉢形土器 附 深鉢形土器 深鉢形土器把手 山梨県安道寺遺跡土坑出土	一箇 一箇 一箇 山梨県（山梨県立考古博物館保管）	山梨県甲府市丸の内一―六―一
静岡県伊場遺跡群出土品 一、木甲 一、土器・土製品 一、木器・木製品 一、石器・石製品 一、青銅製品 一、ガラス製品	一点 五百二十九点 十四点 四十二点 十点 九点 浜松市（浜松市博物館保管）	静岡県浜松市中央区元城町一〇三―二
福岡県西新町遺跡出土品 一、朝鮮半島系土器 一、土器・土製品 一、金属製品 一、ガラス小玉 一、石製品	三十二点 百六十三点 三十四点 二点 四十点 福岡県（九州歴史資料館保管）	福岡県福岡市博多区東公園七―七
白地鉄絵鳥文壺 附 銅銭 熊本県祇園遺跡出土	一口 一点 熊本県（熊本県立美術館保管）	熊本県熊本市中央区水前寺六一―八―一
宮崎県百足塚古墳出土土埴輪 一、形象埴輪 一、円筒埴輪 附 埴輪残欠 新田原六十二号墳出土土埴輪	三十一一点 四点 三十五点 八点 新富町（新富町総合交流センター保管）	宮崎県児湯郡新富町大字上富田七四九―一
鹿児島県山ノ口遺跡出土品 一、軽石製品 一、土器 一、石器	三十点 四十八点 十四点 鹿児島県（鹿児島県立埋蔵文化財センター、鹿児島県歴史・美術センター、黎明館保管）	鹿児島県鹿児島市鴨池新町一〇―一
（歴史資料の部） 名 称 及 び 員 数	所 有 者	所 有 者 の 住 所
人物写真帖 明治十二年明治天皇下命 大蔵省印刷局等製作 靈憲侯簿	三十九冊 国（文化庁保管） 独立行政法人国立公文書館	東京都千代田区北の丸公園三―二―
東寺稻荷御出講栞 永正十六年九月吉日 周善等連署刻銘	一口 宗教法人教王護国寺	京都府京都市南区九条町一
参宮人帳・御被賦帳（橋村肥前大夫家伝来）	三十三点 学校法人天理大学（天理大学附属天理図書館保管）	奈良県天理市柚之内町一〇五〇



# 国重要文化財 としての評価 ポイント

姿形の卓越性、複雑な文様の装飾性により、中部高地における縄文時代の造形技術の極致をよく示している。

埋納という象徴的な出土状況は、縄文土器の儀礼的利用の実態をよく表しており、学術的価値は高い。



山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)  
第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)  
第2条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担任事務欄に掲げるとおりとする。

別表第一 知事の附属機関(簡略)  
山梨県立美術館協議会  
山梨県考古博物館協議会  
山梨県地方産業教育審議会  
山梨県文学館協議会

(組織)  
第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。  
2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。  
3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)  
第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。  
2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。  
3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。  
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。  
5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)  
第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。  
2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。  
3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)  
第9条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)  
2 知事の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年



## 山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

## 博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第23条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第24条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあつては、当該地方公共団体の長)が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

## 山梨県考古博物館協議会運営要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、博物館法第20条、山梨県附属機関の設置に関する条例（以下「条例」という。）及び山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（以下「規則」という。）に定める山梨県考古博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (目的)

第2条 協議会は、山梨県立考古博物館（以下「館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応じ、中・長期的な課題等について調査・審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

### (組織)

第3条 協議会を構成する委員は、条例第4条別表第1の定めに従い15人以内とする。

2 前項15人のうち2人は公募委員とし、公募委員選考委員会要領により開催される公募委員選考委員会で選考する。

3 協議会を構成する委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 観光分野の関係者

### (委員の任期等)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員の辞職等により新たに委員を補充したときは、その委員の任期は前委員の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないが、原則一度限りとする。ただし、協議会の所掌事務に関し特に専門的な知識経験等を有する者又は協議会の所掌事務に密接な関連を有する団体を代表する者が当該委員以外に得難い等特別の事情がある場合は、この限りではない。

### (会長等)

第5条 規則第4条の規定により、協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は委員の互選によりこれを定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長及び副会長の再任は、妨げないものとする。

5 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

7 会長及び副会長は事務局が作成する議事録を確認し、必要に応じ修正等の指示を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、必要に応じて書面またはオンラインによる開催とすることができる。

3 協議会は、毎年2回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

5 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(傍聴)

第7条 協議会は、会長の許可を得た者が傍聴することができる。

2 協議会の傍聴に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事録)

第8条 協議会の議事録はこれを作成し、公開する。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、館に置く。

2 事務局に、事務局長及び事務局員若干名を置く。

3 事務局長は、館長をもって充てる。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本協議会の運営等に関して必要な事項は、会長がこれを定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。